



### 不安を理解し接する 葛巻小で認知症講座

6月2日、葛巻小学校で「孫世代のための認知症講座」が開催され、4、5年生30人が参加しました。講師は町地域包括支援センターの職員3人で、物忘れなどの認知症の症状を、絵本や劇のDVDなどを用いて分かりやすく説明。認知症の人の不安を理解し、同じことを何度聞かれても優しく接することが大切であることを学んでいました。滝又遥馬さん（5年）は「もし家族が認知症になったら、いろんなことを手伝ってあげたい」と話していました。

講師の桂川保健師（円内）の話に聞き入る子どもたち

### 多彩なイベントで まちなかに賑わい

「くずまきクラフト市2023みなづき」（同実行委員会主催）は6月10日と11日の2日間、新町の町家旧遠藤邸などで開催されました。来場者は、手芸作品や木工品、革細工など、個性豊かな手づくり作品を買い求め、アクセサリーを作るワークショップでは子どもたちが夢中になって制作していました。また、11日にはさくら公園に有志が集い、野外イベント「チャチャチャ」を開催。クラフト市の会場からも来客が足を運び、テントサウナやたき火、読み聞かせなどを楽しみ、まちなかは多彩なイベントで賑わいました。



△クラフト市で手づくりの作品を買い求める来場者▷さくら公園でたき火を楽しむ皆さん

### 逆立ちなどに挑戦 親子で楽しく体操

6月18日、「おやこ体操教室」が社会体育館で開催され、9組の親子が参加しました。講師は器械体操の元選手で、現在は盛岡市内の体操教室でインストラクターを務める土信田有紀さん。土信田さんは「幼い時に逆さまになる動きを多く経験することで怖さを克服できる」と説明し、親子でできるブリッジや逆立ちの練習方法などを実践しました。上野千紗さん（葛巻小1年）は「逆立ちは初めてだったけど、お父さんに支えてもらって足をピンと伸ばしたらうまくできた」と嬉しそうな様子でした。



逆立ちに挑戦する親子と指導する土信田さん（円内）



くずま〜るで行われた交付式の様子

### 結婚などをサポート 4組に補助金を交付

住宅取得補助金および新婚ライフサポート金交付式が5月22日、くずま〜るで行われ、4組が鈴木重男町長から補助金を受け取りました。鈴木町長は「この支援を活用し、若い世代に一人でも多く町で暮らしてほしい」とあいさつ。住宅取得補助金を受け取った鈴木貴裕さん（小屋瀬）は「自然が豊かなので、子どもと外で遊ぶのが楽しみです」と話し、新婚ライフサポート金を受け取った野手正巨さん（浦子内）は「2人で葛巻の美味しいものを食べたいです」と今後の町での暮らしをイメージしていました。

### 馬淵川源流祈願祭 豊かな恵みに感謝

5月28日、町観光協会（遠藤裕樹会長）主催の馬淵川源流祈願祭が袖山の馬淵川源流公園で開催され、觸澤義美副町長をはじめ関係者約20人が出席しました。馬淵川は2市4町を通り、八戸市から太平洋に注ぐ延長142kmの一級河川です。遠藤会長は「この源流周辺の自然は後世に長く残していくべきものです。今年度は看板を改修する予定であり、これからも周辺の環境保全に努めていきます」とあいさつ。出席者は豊かな水の恵みに感謝し、水災害の無事を祈願しました。



水災害の無事を祈願する関係者の皆さん

### 初夏を感じながら 遠別岳山開き登山

第38回遠別岳山開き登山兼第40回葛巻町民登山は5月28日に行われ、26人が参加しました。標高1,235mの遠別岳は、山頂から太平洋や岩手山を望む町の最高峰です。天候はあいにくの雨でしたが、参加者は元気良く袖山の登山口を出発。安家平の芝草地を軽快な足取りで抜け、カッコウの鳴き声やサンカヨウなどの山野草に初夏を感じながら森の中を進みました。山頂前の急斜面を越え無事に登頂すると、参加者は達成感に満ちた笑顔を見せていました。



安家平の芝草地を進む参加者の皆さんと道中に咲くサンカヨウ（円内）